

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

農事組合法人 成田農産（山形県長井市）

経営概況（2026年3月時点）

経営規模：水稲72ha、大豆28ha

従業員数：6名

<対象品目>

水稲

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



成田農産の皆様



栽培管理システム（Agrilook）

～認定を受けて一言～

現在、当法人では経営規模・圃場の拡大に伴い、作業効率化や生産性向上が重要な課題となっています。そのため、生産方式の見直しを行い、より効率的で持続可能な農業経営を実現することを目的として、本計画の申請を行いました。

今後は、栽培管理システムAgrilookを導入し、データ分析・蓄積から、労働時間の削減と安定した収量の確保を図るとともに、地域農業の担い手として持続可能な農業経営を実現していきたいと考えています。